

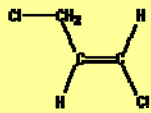
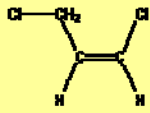
項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

# 1. 一般情報

## GENERAL INFOMATION

### 1.01 物質情報

#### SUBSTANCE INFOMATION

CAS番号	542-75-6
物質名(日本語名)	1,3-ジクロロプロペン
物質名(英名)	1,3-dichloropropene
別名等	テロン、D-D
国内適用法令の番号	化審法化学物質:(2)-125 PRTR政令番号:1-137
国内適用法令物質名	1,3-ジクロロプロペン
OECD/HPV名称	1,3-dichloropropene
分子式	C <sub>3</sub> H <sub>4</sub> Cl <sub>2</sub>
構造式	 
備考	<p>ア) 農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、平成18年6月29日付「暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順」に従い、今後5年間を目処に、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

### 1.02 安全性情報収集計画書／報告

#### 書作成者に関する情報

#### SPONSOR INFOMATION

機関名	農薬工業会
報告書作成日	2008.09.30
備考	

### 1.03 カテゴリー評価

#### DETAILS ON CHEMICAL CATEGORY

カテゴリー評価の正当性	
-------------	--

### 1.1 一般的な物質情報

#### GENERAL SUBSTANCE INFOMATION

物質のタイプ	有機化合物
物質の色・におい・形状等の情報	淡黄色澄明液体
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体
純度(重量／重量%)	97
出典	MSDS
備考	

### 1.5 製造・輸入量

#### QUANTITY

製造・輸入量	10000～12000トン
報告年	2007年
出典	農薬要覧

備考	
----	--

## 1.6 用途情報

### USE PATTERN

主な用途情報	その他: 下欄のセルに記載
工業的用途	農業
用途分類	土壌くん蒸
出典	ダウ製品要覧2007
備考	

## 1.7 環境および人への暴露情報

### SOURCES OF EXPOSURE

暴露に関する情報	なし
出典	なし
備考	

## 1.8 追加情報

### ADDITIONAL INFORMATION

既存分類	GHS分類 ID-137
職業暴露限界	不明
廃棄方法	
文献調査の範囲と日付	不明
出典	
備考	

## 2. 物理化学的性状

### PHYSICAL CHEMICAL DATA

#### 2.1 融点

##### MELTING POINT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	凝固点
方法	BS4633
GLP	はい
試験を行った年	シス体; 1990 トランス体; 1998
試験条件	
結果	
融点: °C	シス体; -85°C トランス体; <-25°C
分解: °C	
昇華: °C	
結論	
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農業登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農業登録申請のための必須項目であり、農業取締法により、国によって評価され農業登録されている。</p> <p>・「農業工業会ホームページの農業安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農業評価書」と「農業抄録」が公開される予定となっている。</p>

#### 2.2 沸点

##### BOILING POINT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
-------	--------------

CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	シス体 OECD103蒸留法、トランス体 Siwoloboff法
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	
沸点: °C	シス体 103.8-105.2、トランス体 114.5
圧力	
分解: °C	
結論	シス体 103.8-105.2、トランス体 114.5
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

### 2.3 密度(比重)

#### DENSITY(RELATIVE DENSIT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	比重瓶法
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	シス体 1.221、トランス体 1.23
タイプ	
温度(°C)	シス体 23°C、トランス体 24°C
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

### 2.4 蒸気圧

#### VAPOUR PRESSURE

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	

注釈	
方法	シス体; OECD 104、トランス体; EPA/OPPTS 830.7950
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	
蒸気圧	シス体 4850Pa、トランス体 2982Pa
温度: °C	25°C
分解: °C	
結論	シス体 4850Pa、トランス体 2982Pa
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## 2.5 分配係数(log Kow)

### PARTITION COEFFICIENT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	シス体; OECD 107、トランス体; EPA/OPPTS 830.7570
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	
Log Kow	シス体 1.82、トランス体 2.1
温度: °C	20°C
結論	シス体 1.82、トランス体 2.1
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## 2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

### WATER SOLUBILITY & DISSOCIATION CONSTANT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	

方法	シス体; OECD 105、トランス体; EPA/OPPTS 830.7840
GLP	はい
試験を行った年	1990 (シス体)、1998 (トランス体)
試験条件	
結果	
水溶解度	シス体 2450mg/L、トランス体 2520mg/L
温度: °C	20°C
pH	
pH測定時の物質濃度	
結論	シス体 2450mg/L、トランス体 2520mg/L
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>
解離定数	
試験物質	
同一性	
方法	イオン化する基は有しないので測定せず
温度: °C	
GLP	
試験条件	
試験を行った年	
結果	
結論	解離しない
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

### 3. 環境運命と経路

#### ENVIRONMENTAL FATE AND PATHWAYS

##### 3.1 安定性

##### STABILITY

##### 3.1.1. 光分解

##### PHOTODEGRADATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	97%
注釈	
方法	AOPWIN(version 1.91)
タイプ	間接光分解

GLP	
試験を行った年	2006年
光源と波長(nm)	
太陽光強度に基づいた相対強度	
物質のスペクトル	
試験条件	光照射時間:12時間/日
結果	
物質濃度	
温度(°C)	
直接光分解	
半減期t <sub>1/2</sub>	
分解度(%)と時間	
量子収率 (%)	
間接光分解	
増感剤(タイプ)	OHラジカル
増感剤濃度	$1.5 \times 10^6$ OH/cm <sup>3</sup>
速度定数	cis: $9.3564 \times 10^{-12}$ cm <sup>3</sup> /molecule-秒 trans: $10.5693 \times 10^{-12}$ cm <sup>3</sup> /molecule-秒
半減期t <sub>1/2</sub>	t <sub>1/2</sub> = cis: 1.143日 trans: 1.012日
分解生成物	
結論	t <sub>1/2</sub> = cis: 1.143日 trans: 1.012日
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

### 3.1.2. 水中安定性(加水分解性)

#### STABILITY IN WATER

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	EPAの試験ガイドライン発行前の試験
GLP	いいえ
試験を行った年	1986
試験条件	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
所定時間後の分解度(%)、pH、温	
半減期	
分解生成物	
結論	半減期(各pHとも)、50.9日(10°C)、11.3日(20°C)、3.1日(30°C)
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	

備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>
----	---

### 3.3. 移動と分配

#### TRANSPORT AND DISTRIBUTION

##### 3.3.1 環境区分間の移動

#### TRANSPORT BETWEEN ENVIRONMENTAL COMPARTMENTS

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン			
CAS番号	542-75-6			
純度等	97%			
注釈				
方法	Fugacity model III			
結果				
媒体	大気－水－土壌－底質			
環境分布予測と媒体中濃度 (levelIII/III)	分布 (%)			
	-----			
	大気	水	土壌	底質
	-----			
	13.1	63.5	23.2	0.254
	-----			
結論	分布 (%)			
	-----			
	大気	水	土壌	底質
	-----			
	13.1	63.5	23.2	0.254
	-----			
注釈	EPISUIT(version 3.12)			
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)			
	キースタディ			
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法			
出典	国による情報提供			
引用文献				
備考				

##### 3.3.2 分配

#### DISTRIBUTION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	97%
注釈	
媒体	水－空気
方法	ヘンリー定数
試験条件	
結果	$2.48 \times 10^{-3} \text{ Pa} \times \text{m}^3/\text{mole}$
結論	$2.48 \times 10^{-3} \text{ Pa} \times \text{m}^3/\text{mole}$
注釈	HENRYWIN v1.90, 2006年, 25°C
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

## 3.4 好気性生分解性

## AEROBIC BIODEGRADATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	標準法
培養期間	4週間
植種源	
GLP	
試験を行った年	
試験条件	
試験物質濃度	100ppm
汚泥濃度	30ppm
培養温度 °C	
対照物質および濃度(mg/L)	
分解度測定方法	
分解度算出方法	
結果	
最終分解度(%) 日目	(%)(日目)
分解速度-1	
分解速度-2	
分解速度-3	
分解速度-4	
分解生成物	
上記結果以外の分解度測定方法及びその結果	
対象物質の7, 14日目の分解度	
その他	
結論	難分解性 間接測定 BOD 3% 直接測定 TOC 0%、GC (ピークA)98% (ピークB)98%
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	既存化学物質安全性点検データ
出典	
引用文献	
備考	



項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

#### 4-1 魚への急性毒性

#### ACUTE TOXICITY TO FISH

試験物質	1,3-ジクロロプロペン
同一性	542-75-6
方法	JMAFF 13-1739 2-7-1
GLP	はい
試験を行った年	2004
魚種、系統、供給者	コイ
エンドポイント	96時間LC <sub>50</sub>
試験物質の分析の有無	あり
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験魚の月齢、体長、体重	
試験用水量あたりの魚体重	
参照物質での感受性試験結果	
じゅん化条件	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	96時間
試験方式	半止水
換水率/換水頻度	
連数、1連当たりの魚数	
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
生物学的影響観察	
累積死亡率の表	
統計的結果	
注釈	
対照区における死亡率	
異常反応	
その他の観察結果	
結論	
結果(96h-LC50)	0.79mg/L(実測濃度)
信頼性スコア	1. 制限なく信頼性あり
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	

備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>
----	---

#### 4-2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)

##### ACUTE TOXICITY TO AQUATIC INVERTEBRATES (DAPHNIA)

試験物質	1,3-ジクロロプロペン
同一性	542-75-6
方法	OECD Test Guidelines 202
GLP	はい
試験を行った年	2001
生物種、系統、供給者	Daphnia magna
エンドポイント	48hr EC <sub>50</sub>
試験物質の分析の有無	あり
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験生物の起源、前処理、繁殖方	
参照物質での感受性試験結果	
試験開始時の時間齢	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	48時間
試験方式	止水
連数、1連当たりの試験生物数	
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
遊泳阻害数	
累積遊泳阻害数の表	
注釈	
対照区における反応は妥当か	
対照区における反応の妥当性の考	
結論	
結果(48h-EC50)	3.58mg/L(48h-EC50)
信頼性スコア	1. 制限なく信頼性あり
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## 4-3 水生植物への毒性(例えば藻類)

TOXICITY TO AQUATIC PLANTS e. g. ALGAE

試験物質	1,3-ジクロロプロペン
同一性	542-75-6
方法	EPA-FIFRA Test Guidelines 123-2
GLP	はい
試験を行った年	1999
生物種、系統、供給者	淡水緑藻 ( <i>Selenastrum capricornutum</i> )
エンドポイント	96hr EC <sub>50</sub>
毒性値算出に用いたデータの種類	
試験物質の分析の有無	あり
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験施設での藻類継代培養方法	
藻類の前培養の方法及び状況	
参照物質での感受性試験結果	
希釈水源	
培地の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	96hr
試験方式	止水
連数	
各濃度区の少なくとも1連における試験開始時と終了時の水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
細胞密度	
生長阻害率(%)	
各濃度区における生長曲線	
その他観察結果	
注釈	
対照区での生長は妥当か	
対照区における反応の妥当性の考	
結論	
結果(ErC50)	96h-EC50; 15.8mg/L(実測濃度)
結果(NOEC)	96h-NOEC; 3.58mg/L
信頼性スコア	1. 制限なく信頼性あり
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

5-2 急性毒性  
ACUTE TOXICITY  
A. 急性経口毒性  
ACUTE ORAL TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1987
試験系(種／系統)	Rat Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	強制経口投与
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	♂300mg/kg, ♀ 224mg/kg
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

B. 急性吸入毒性  
ACUTE INHALATION TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1987

試験系(種/系統)	Rat
性別(雄:M、雌:F)	Fischer 344
投与量	MF
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	♂ 855～1035ppm, ♀ 904ppm
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ)内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

### C. 急性経皮毒性

#### ACUTE DERMAL TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1987
試験系(種/系統)	Rabbit
性別(雄:M、雌:F)	New Zealand White
投与量	MF
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	333mg/kg
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	
注釈	

信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

#### 5-5 反復投与毒性

#### REPEATED DOSE TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	OECD412
GLP適合	はい
試験を行った年	1993
試験系(種／系統)	Rat
性別(雄:M、雌:F)	Fischer 344
投与量	MF
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	混餌投与
対照群に対する処理	
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	
投与頻度	
回復期間(日)	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
眼科学的所見(発生率、重篤度)	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	
剖検所見(発生率、重篤度)	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
注釈	
結論	
NOAEL (NOEL)	♂:5mg/kg/day(NOAEL)、♀:5mg/kg/day(NOEL)
LOAEL (LOEL)	
NOAEL/LOAELの推定根拠	
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり

信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

#### 5-6 *in vitro* 遺伝毒性

#### GENETIC TOXICITY IN VITRO

##### A. 遺伝子突然変異

##### GENE MUTATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	復帰変異原性試験、農林水産省ガイドライン59農蚕4200号
GLP適合	はい
試験を行った年	1997
細胞株又は検定菌	S. typhimurium TA1535, TA100
代謝活性化(S9)の有無	
試験条件	
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
変異原性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
注釈	
結論	
遺伝子突然変異	陰性
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

##### B. 染色体異常

##### CHROMOSOMAL ABBERATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	染色体異常試験、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1988
細胞株	Chinese hamster lung fibroblasts (V79)
代謝活性化(S9)の有無	
試験条件	
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	

代謝活性なしの場合	
染色体異常	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
注釈	
結論	
染色体異常	陽性
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

#### 5-9 生殖・発生毒性(受胎能と発生毒性を含む)

REPRODUCTIVE TOXICITY(Including Fertility and Development Toxicity)

##### A. 受胎能

##### FERTILITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	繁殖毒性試験、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
試験のタイプ	two generation
GLP適合	はい
試験を行った年	1987
試験系(種/系統)	Rat
	Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	蒸気吸入
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
妊娠率(妊娠個体数/交配数)	
交尾前期間(交配までの日数及び交配までの性周期回数)	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
妊娠指数(生存胎仔数/着床痕数)	
哺乳所見	
性周期変動	
精子所見	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	
剖検所見(発生率、重篤度)	
着床数	



黄体数	
未熟卵胞数	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
同腹仔数及び体重	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
離乳までの分娩後生存率	
新生仔所見(肉眼的な異常)	
生後発育及び発育率	
膣開口又は精巣下降(包皮分離)	
生殖器-肛門間距離などその他の観察事項	
臓器重量	
統計的結果	
注釈	
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	30ppm(NOEL)
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	90ppm(NOEL)
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	90ppm(NOEL)
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ)内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## B. 発生毒性

### DEVELOPMENTAL TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	農薬登録申請用試験法
GLP適合	いいえ
試験を行った年	1983
試験系(種／系統)	Rabbit
	New Zealand White
性別(雄:M、雌:F)	F
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
投与経路	蒸気吸入
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
死亡数(率)、死亡時間	
用量あたり妊娠数	
流産数	
早期/後期吸収数	
着床数	

黄体数	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
剖検所見(発生率、重篤度)	
臓器重量(総子宮量への影響)	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
同腹仔数及び体重	
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
生後発育	
分娩後生存率	
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	
実際に投与された量	
用量反応性	
統計的結果	
注釈	
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	20ppm(NOEL)
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	120ppm(NOEL)
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

6 参考文献(以下に欄を追加の上、一文献について一行にて一覧を記載)

文献番号(半角数字: 自動的に半角になる)	詳細(OECD方式での記入をお願いします。下の記入例参照。)	日本語の場合、以下の欄をお願いします。
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		